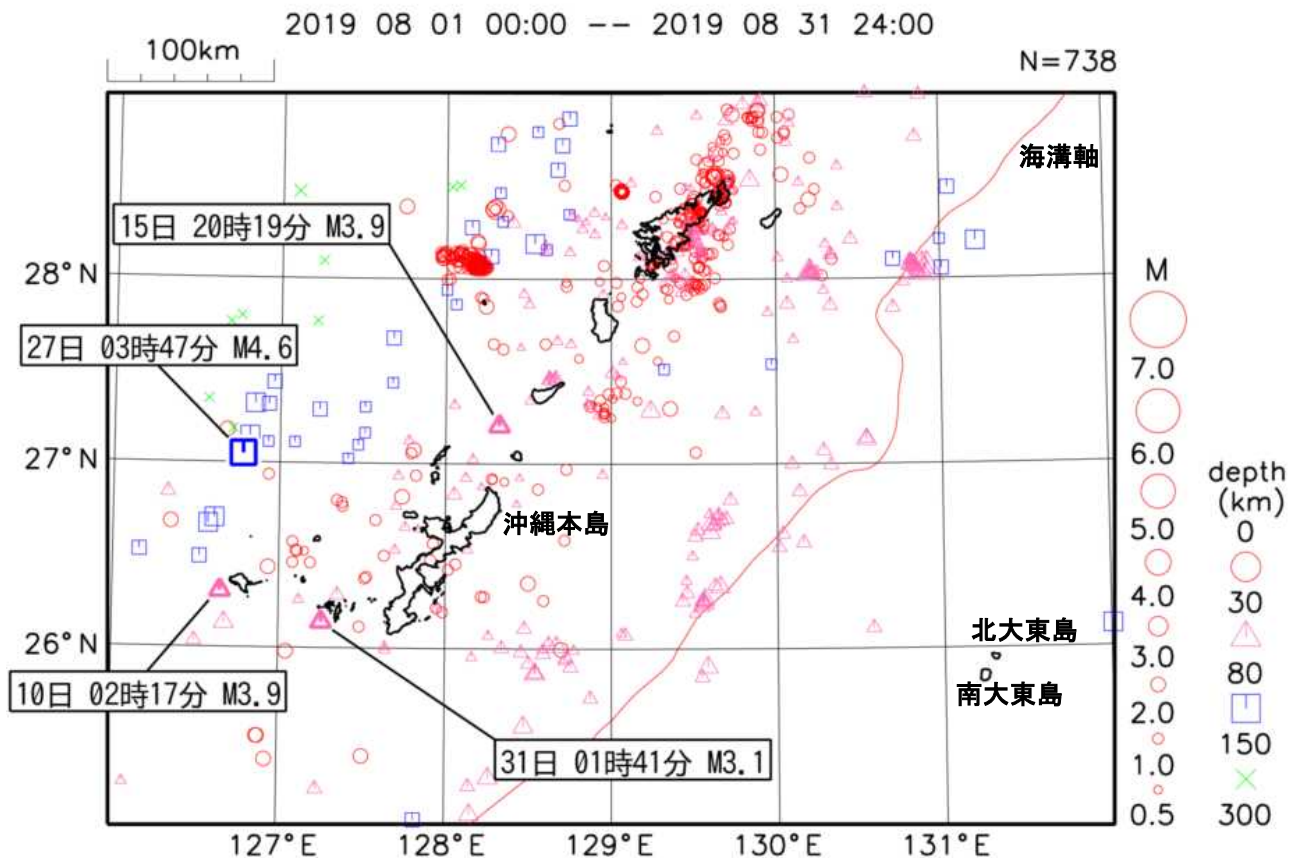


地震活動図

2019年8月

南大東島地方気象台

震央分布図



図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ

N：地震回数（マグニチュード0.5以上の回数です）

大東島地方及び沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震を吹き出しで示しています。

[概 況]

今期間に、大東島地方及び沖縄本島地方とその周辺（図の範囲内）で観測した地震は738回（7月1018回）で、このうちM4.0以上の地震は4回（7月8回）でした。

また、震度1以上を観測した地震は、大東島地方では無く（7月0回）、沖縄本島地方で4回（7月9回）でした。

大東島地方及び沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震の表（期間：2019年8月1日～31日）

震源時 各地の震度（沖縄県のみ記載）	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2019年8月10日02時17分 沖縄県 震度 1：座間味村座間味*, 久米島町山城, 久米島町謝名堂, 久米島町比嘉*	沖縄本島近海	26° 18.2' N	126° 38.8' E	77km	M3.9
2019年8月15日20時19分 沖縄県 震度 1：国頭村奥, 国頭村辺土名*, 伊平屋村役場*	沖縄本島近海	27° 12.2' N	128° 19.3' E	52km	M3.9
2019年8月27日03時47分 沖縄県 震度 2：渡名喜村渡名喜* 震度 1：名護市豊原, 名護市港*, 国頭村奥, 国頭村辺土名*, 宜野座村宜野座*, 粟国村浜, 読谷村座喜味, 座間味村座間味*	沖縄本島北西沖	27° 02.9' N	126° 46.6' E	120km	M4.6
2019年8月31日01時41分 沖縄県 震度 1：座間味村座間味*, 渡名喜村渡名喜*	沖縄本島近海	26° 08.3' N	127° 15.4' E	37km	M3.1

*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※ 資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

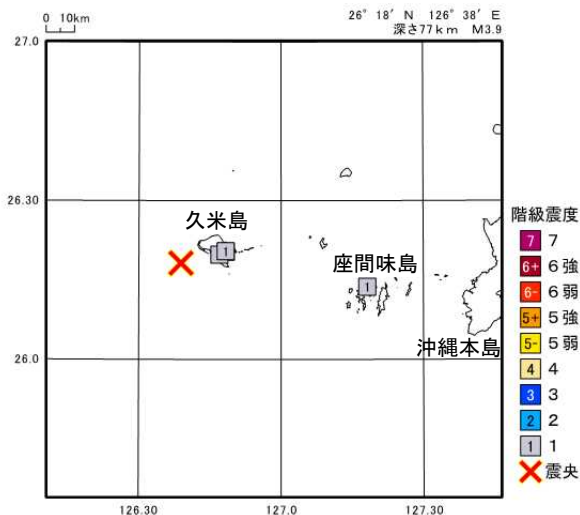
※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

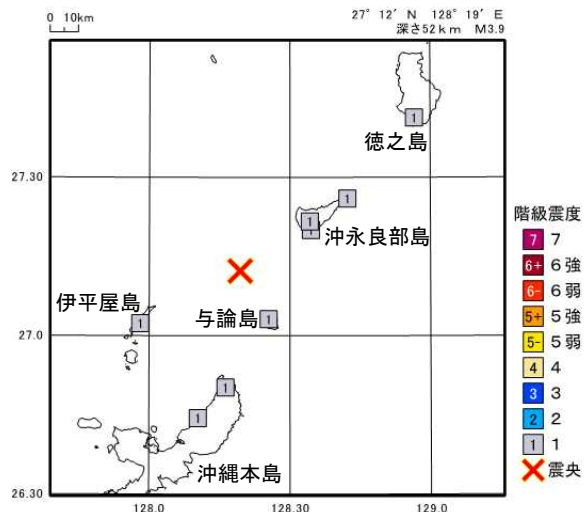
※ データについては精査により、後日修正することがあります。

大東島地方及び沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震の震度分布図

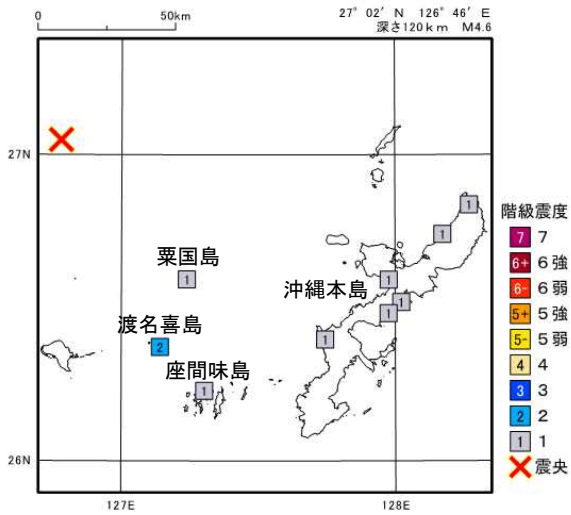
2019年8月10日02時17分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



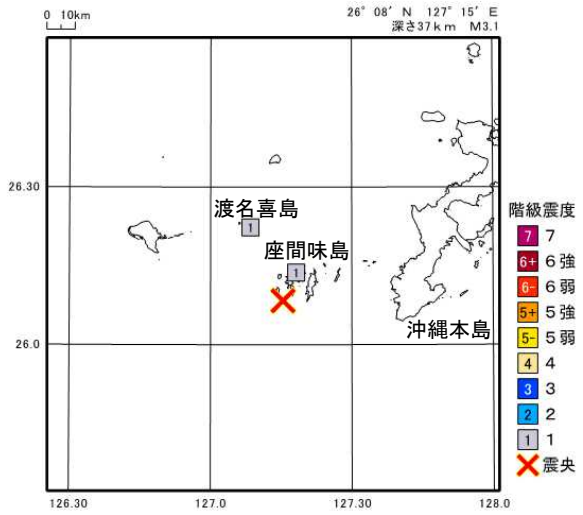
2019年8月15日20時19分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



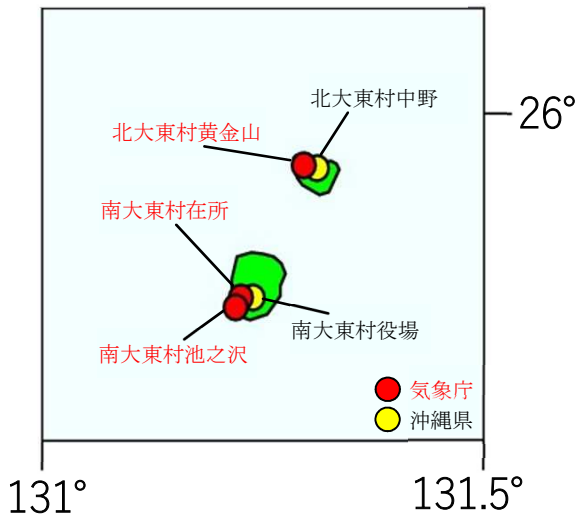
2019年 8月27日03時47分 沖縄本島北西沖の地震の震度分布図



2019年 8月31日01時41分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



大東島地方の震度観測点



Japan Meteorological Agency

本件に関するお問い合わせ先
 (南大東島地方気象台)
 電話 09802-2-2006
<https://www.jma-net.go.jp/daitou/>

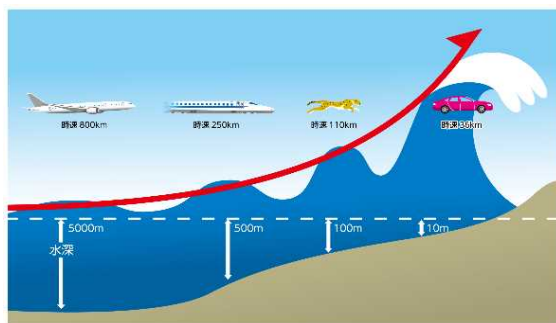
津波から身を守るために！

～沖縄でも津波災害が発生しています～

沖縄で起こった津波の被害

私たちが暮らしている沖縄地方は、過去に津波の被害を受けています。1771年（明和8年）4月24日に発生した八重山地震により「明和の大津波」が起こり、約1万2千人が犠牲となりました*。
 海外で発生した地震による津波でも被害を受けています。1960年（昭和35年）5月23日にチリ中部沿岸付近のマグニチュード9.5のチリ地震津波によって発生した津波は、約1日かけて日本に到達しました。この津波により、死者・行方不明者142人（このうち沖縄県内では死者3人、負傷者2人）、住宅の全壊や橋の損壊など大きな被害がありました*。
 ※ 被害は「日本被害地震総覧」より

津波の特徴を知り、津波の危険から身を守りましょう

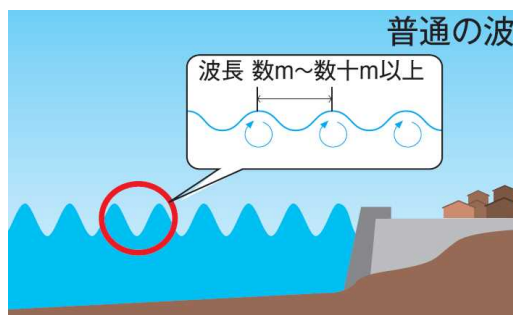
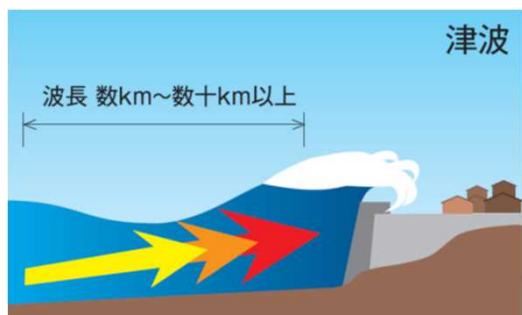


・海岸で突然大きくなる！とても速い！

津波は、沖合ではジェット機に匹敵する速さで伝わり、水深が浅くなるほど遅くなります。海岸付近では、海底が浅くなることに加え、後続の速い波に追いつかれることで津波の高さが急に大きくなります。水深が浅いところで遅くなるといっても、人が走って逃げ切れるものではありません。

・数十cmの津波でも危険がある

普通の波は風が吹くことで海面が動くものですが、津波は海底から海面まで全てが移動するエネルギーの大きな波です。たとえ数十cmの津波でも、人が速い流れに巻き込まれてしまうおそれがあります。

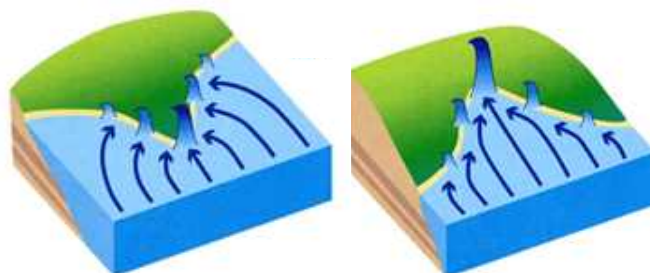


・津波はくり返し襲ってくる！

最初の波より後からやってきた波のほうが大きいことがあるので、津波警報などが発表されている間は海岸付近に近寄らず避難行動をつづけ、安全な場所を離れないでください。

・海岸付近の地形によって津波の高さは大きく変化する

岬の先端やV字型の湾の奥では波が集中するので特に注意が必要です。



地震・火山に関する情報は
 沖縄气象台ホームページまで
<https://www.jma-net.go.jp/okinawa/data/jishin/month.html>

沖縄气象台

検索

